

令和4年度 公益財団法人入善町文化振興財団事業計画書

1. 文化芸術活動の普及啓発に関すること

(1) コスモホール自主文化事業

令和4年度は、Withコロナ、Afterコロナの中でも、ホールを拠点に地域文化を担う人材育成と「入善コスモホール」ブランドの発信をこれまで培ってきた手法に新たな工夫と試みを取り入れながら目指す。

また、コロナ禍においても多彩な自主事業を通じて幅広い世代が安心して訪れ、地域の人々に感動や憧れとの出会いを創出するホール運営を目指す。

なお、事業の運営には新型コロナウイルス感染症による影響が引き続き予想されることから、開催期間の状況を段階的に判断しながら実施に向けて努める。

①「入善コスモホール」ブランドを内外に発信できる優れた音楽事業の開催

内容:優れた音響効果を持つコスモホールの特性を生かして「入善」ブランドを内外に発信できる優れたアーティストと地域の人々との共演や交流企画やインターネットを活用した PR 配信も関連させながら、コスモホール独自の公演事業を実施。

・ショパン国際コンクールで注目を集める若手ピアニスト・シリーズ

牛田智大・松田華音 2 台ピアノ・ソロ企画シリーズ(7 月・3 月)

小林愛実 ピアノリサイタル(9 月)

昨年開催された世界的なピアノコンクール「第 18 回ショパン国際ピアノコンクール」で活躍した日本人ピアニストを起用。本大会で4位に入賞した小林愛実、常に注目を集める人気ピアニスト牛田智大がソロ以外で初めて松田華音と 2 台ピアノに挑戦する等、話題性あふれる公演を開催。

・小曾根真 特別プロジェクト(3 月 予定)※地域創造助成事業

世界的ジャズ・ピアニスト小曾根真(おぞね・まこと)による特別企画。今回は特別ゲストを交えた内容を予定。また、地元学生との交流企画も併催。

・トルヴェール・カルテット コンサート(11 月)※富山県公文協補助事業予定

日本を代表するサクソフォン奏者であり吹奏楽指導者である須川展也、田中靖人を中心にした結成 35 周年を迎えた「トルヴェール・カルテット(サクソフォン四重奏)」がホールに初登場する。地元吹奏楽団、吹奏楽部とともに入善限定版の特別公演。あわせて、出前公演(クリニック)等の交流企画も併催。

②地域の人々がホールに集い、多彩な芸能文化を体験するプログラム

内容：地域住民が優れた芸能公演を鑑賞できる交流拠点として、ホールにて話題の舞台鑑賞事業を実施する。令和4度は、テレビでおなじみの落語家や歌手、話題のアーティストによる多彩なジャンルの公演事業を実施。

- ・北日本民謡舞踊入善大会(民謡／4月)
- ・入善名水寄席 柳家三三・春風亭一之輔公演、桂宮治公演(落語／7月、3月)
- ・宝くじまちの音楽会 岩崎宏美(歌／10月)※自治総合センター宝くじ補助事業
- ・バラエティ講演会(冬頃予定)
- ・映画上映会(夏頃予定)

③青少年が芸術文化に関心を持ち、舞台芸術を体験するプログラム

内容：青少年が身近に芸術文化を体験できるように、鑑賞プログラム、アウトリーチプログラム、参加型プログラム等、幅広い機会を企画。

令和4年度は、町中学1,2年生を対象とした公演鑑賞会を実施。

- ・入善町中学校芸術鑑賞会(秋頃予定／交流ワークショップも同時実施)

④地域交流プログラム

内容：ホールを活用した参加体験型事業としてピアノ開放事業に加えて、地域と連携して幅広い交流・共演によるコンサートや話題を提供する企画を実施。

- ・ホール・ピアノ開放プログラム(年4回)
- ・コスモホール地域文化応援プログラム・シリーズ
奥井紫麻・中瀬智哉ピアノリサイタル(5月振替公演)

注目を集める入善町出身の若手ピアニスト中瀬智哉と17歳にして既に国際的なキャリアを積んでいる日本人ピアニスト奥井紫麻によるジョイント・リサイタル。将来を期待されている二人の現在を聴くシリーズ

- ・ファミリーコンサート(調整中)※富山県公文協補助事業予定
コロナ禍におけるライブ配信と、プロジェクター映像と音楽を組み合わせたコンサート企画

⑤ホール情報会員組織の運営

- ・有料、無料登録会員を対象とした情報配信制度の運営

(2) 美術展企画展示事業

会場となる町民会館の特性を生かし、美術愛好家のみではなく、ホールや図書館、中央公民館の利用者も気軽に鑑賞できる分かりやすい美術展を開催し、町民がアートに触れ親しむ場を提供する。

①ワークショップ（創作体験）による作品展

内容：各分野の専門家を招いて地域の人々を対象にしたワークショップ（創作体験）を交えながら創造発信の場として実施。令和4年度は入善町民会館内の公民館ギャラリー、回廊等のエリアを会場にワークショップ作品の展示や展示にあわせて朗読やミニ・コンサート等の発表を行う。

- ・コラボ de 広場シリーズ（朗読、音楽と展示のコラボレーション）

②出張美術館事業

内容：入善町所有美術品を町内の小中学校や公民館で展示し、芸術文化への関心と理解を深めるアウトリーチ事業として実施。

- ・入善町出張美術館（地区公民館を会場にした解説付き移動美術館）

③公民館ギャラリー活性化事業

内容：町民会館ギャラリーを町民の文化交流サロンとして活用し、通年で作品展示事業として実施。

- ・入善町所有美術品を活用した展覧会
このほか、入善町所有美術品の常設展、公民館団体による作品展を予定

（3）芸術文化振興事業

財団設立以前から町主催で開催している町民参加型の事業で、芸術文化活動をしている町民の発表の場として親しまれている。身近な創作活動の目標となっており、今後も継続して開催する。

① 第50回入善町美術展：10月中旬予定

- ・高校生以上の町在住、出身、通勤通学者を対象にした町内最大規模の公募展。絵画、書、写真、彫刻・工芸の4部門で構成され、出品者数約100名、作品数約120点を予定。

② 第50回入善町芸能発表会：11月3日（木・祝）予定

- ・町内で芸能文化活動をしている団体を対象にした発表会。参加者による実行委員会を構成して開催要項の作成や出演団体の選考を行う。約20団体300名の出演を予定。

(4) 下山芸術の森企画展示事業

芸術文化の振興と町民の美術に関する学習、創作活動を推進することを目的とする下山芸術の森アートスペース。その目的達成のため、中心施設である発電所美術館を会場に以下の展示事業を行う。

- ① アート・クリップ 2022：町明日香（収蔵品展＋県内作家紹介コーナー）
 - ・会期：4月23日(土)～5月29日(日)
 - ・2020年よりスタートしたシリーズ企画で、収蔵品と解説パネルで過去の展覧会を振り返るとともに、今後の活躍が期待される県内の若手作家や平面作家を紹介。2022年の第一弾は、滑川市在住の抽象画家、町明日香（まち あすか）を紹介。色彩によるハーモニーと筆の痕跡のリズムが、観る者の記憶や想像力を刺激する抽象絵画約20点を展示予定。

- ② 山上渡展
 - ・会期：7月16日(土)～9月25日(日)
 - ・高知県生まれ、長野育ち、東京都在住の現代美術作家、山上渡（やまかみ わたる）の個展。縦7m×横12mの大型絵画作品を中心に複数の絵画とインスタレーション作品を展示。会場全体を大型工場扇や大量の家庭表扇風機で発生させた風を受け、作品が様々な表情を見せる。

- ③ アート・クリップ 2022：勝見ふうたろー（収蔵品展＋県内作家紹介コーナー）
 - ・会期：10月22日(土)～12月4日(日)
 - ・2022年の第二弾は、高岡市在住の若手漫画家、勝見ふうたろー（かつみふうたろー）を取り上げる。自身の描く漫画の世界観をより深く体感できるよう、多彩な手法で表現する実験的な展示を予定。

- ④ ニザヤマ アクション プロジェクト
 - ・会期：2月11日(土・祝)～3月19日(日)
 - ・発電所美術館の事業をサポートしてくれる技術者や熱心なファンの力を活用する新プロジェクト。初回となる今回は「音」をテーマに、アート活動をしたいと考える地域の方と美術館が一緒になって展覧会をつくりあげる。

2. 文化施設等の管理運営に関すること

(1) 町民会館管理運営事業

- ① 町民会館（ホール、中央公民館）及び文化資料館の管理
- ② ホール、中央公民館の利用促進

(2) 下山芸術の森管理運営事業

- ① 各施設の建物管理（発電所美術館、アトリエ、宿泊棟、ゲート棟、展望棟）
- ② アトリエ、宿泊棟の利活用
- ③ 建物周辺の芝生広場、植栽の管理

3. その他の事業（収益事業）

管理運営する施設等を公益目的とした事業以外で貸与する事業

(1) 図書館としての施設管理

(2) 入善コスモホール及び中央公民館の公益目的外の施設貸与

(3) 他会館チケットの販売